

●Q1. 中根式の「インツクキ法」とはどのようなものなのか、その概略を教えてください。

A. 漢字を音読みにすると2音目には「インツチクキウ」のいずれかがつきます。

改 人 活 吉 国 責 級
カイ ジン カツ キチ コク セキ キュウ (キウ)

漢字音を簡単に書く法則ですが、中根式では字頭があいているので、字頭につけて書きます。これを「逆記」と言います。

基本文字で書いていくと、速記文字がゴツゴツしているので、インツクキ法を使うことにより速記文字を整えて書くことができます。

カイ ジン カツ キチ コク セキ キウ (キュウ)

Q e a i ← e ?

*「ウ」は、「長拗音」に分類されております。字頭に大カギをつけると下記のように読みます。

カ キ ク ケ コ
キャ キュウ クウ キョウ コウ
(キウ) (ケウ)

— / | / —
c ? 7 ? c

●Q2. 「インツクキ」は字頭に符号を付けるとのことですが、一音目の速記文字が、直線もしくは曲線の違いによるサインの付け方に決まりはありますか？

曲線の場合は、弧の内側に付ける方が自然な運筆かと思いますが、直線の場合、正側・負側、どちらにつけるべきか迷います。

A. インツクキの符号は1音目の速記文字が「直線は正側」「曲線は内側」につけませんが、3音目以降の場合は書きやすい方につけます。

「例」とんちんかん

トンは正側、チンとカンを負側、つまり外側につけます。

とんちんかん



「記念」

ネンは曲線の内側につけると書きにくいので、小円を外側に書きます。

記念 記念日 記念品



●Q3. 「インツクキ」のサインを付け忘れて書いてしまった場合、例えば、「カイ」と書く際に「カ」の速記文字「一」を最初に書いてしまった場合は、どう対処するのでしょうか。

字頭まで筆を戻して、小円を書くのでしょうか。それとも「カ」に続いて基本文字の「イ」を書くのでしょうか。それとも、それ以外の方法があるのでしょうか。

A. 基本文字が終わった段階で「ン」の小円逆記を習います。インツクキ法を学習する前に「ン」の小円を習います

インツクキ法のサイン符号を書き忘れた場合は、次の速記文字は素直に基本文字で書いていきます。

カイ カイ



●Q4. そもそも、「インツクキ」は、なぜ字頭にサインをつけるのでしょうか。字尾に付ける方が簡単で分かりやすいと思うのですが。

A. インツクキ法は字頭にサイン符号をつける理由は、字尾に助詞のサイン符号をつけるためです。

中根式の基本文字は単線で構成されているので、字頭にサイン符号をつければ、字尾があいております。小円を字頭につければ「オン」をあらわし、字尾につければ助詞の「ハ」をあらわします。

*助詞符号は「直線は負側」「曲線は内側」に書きます。

善は急げ



●Q5. 「インツクキ」は、漢音のみにおける縮記法でしょうか。それとも、外来語や和語（マイアミ、キンドル、乙な気分、ウクライナ…等々）にも使えるのでしょうか。

A. 基本的には漢音のみの縮記法ですが、和語・外来語にインツクキが含んでいる場合でも使えます。和語を縮記・略記する場合には、別の法則もあります。

マイアミ キンドル 乙な気分 ウクライナ


